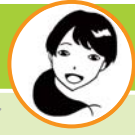




GO! GO!

きもつきおこし



肝付町 地域おこし協力隊 隊員活動報告 vol.09

イプシロン2号機、SS-520-4号機打上げ!



SS-520-4号機 飛翔



見学場ブースの様子

12月20日にイプシロン2号機、1月15日にSS-520-4号機が打ちあがりました。きもつき宇宙協議会では、見学場で国民募集やグッズ販売ブースを出店したほか、星空ロケット観測会を行いました。心配された天気は奇跡の快晴。たくさんのお見学者で賑い、発射までの待ち時間は、ロケットを望遠鏡で観測したり、手持ちのスマートフォンで撮影したり、冬の天の川を観察したりと楽しんでいただきました。

イプシロン2号機は眩しい程の光と轟音を連れて、宇宙を見事に射とめました。また、1月15日

のSS-520-4号機打ち上げは、予想を超える1000人強の見学客の方々に来て頂きました。これまた青空を突き抜けるような見事な打ち上げだったのですが、残念ながら機体からのデータが受信出来ず、やむなく2段点火を断念。今回の実験は、民生品(日常的に使用されている電子機器)を使った画期的なもので、世界最小の衛星搭載ロケットとして注目されました。引き続き応援していきましょう。



加藤 美和子(かとう みわこ)

1984年生。福井県出身。医療専門学校卒業後、宮崎で約5年暮らし、デイケア施設に勤める。きもつき宇宙協議会事務局

未来・現在・過去が繋がるまち

昨年末のイプシロン2号機/あらせ、年明けのSS-520-4と、未来に向かう挑戦が行われている肝付町。そんな未来へ向かっている間にも、先人達との繋がりとなるイベントが町内各地で行われています。岩崎や論地のオネッコ、内之浦のドヤドヤサー、国見のジャンボ鬼火焚きなど、私は見たことがなかったので時間が合うかぎり見に行ってきました。

その中でも、ドヤドヤサーは私が住んでいる地域の行事なので、事前の準備や当日の祭典、反省会

まで参加しました。子どもから年配の方まで、私が見ただけでも50人ほどの方が竹切りや竹の枝落とし、飾り付けなどを行い、他にも合計100人は準備に関わっていると思います。

当日は写真の通り、大勢の方が参加され、強風のなかでしたが無事に催されました。反省会では来年以降も頑張ろうという雰囲気でした。

未来・現在・過去が繋がる活動がある限り地域性は保たれるはずで、町内各地は今も視界良好です!



雨のなか竹切りや枝落としを行なった様子



今年もドヤドヤサーには大勢参加されました!



園田 欣大(そのだよしひろ)

1978年生。長崎県対馬市出身。電子部品製造会社の商品設計部門に約13年勤務。

地域おこし協力隊のブログ「きもつきおこし!」 <https://kimotsukiokoshi.wordpress.com/>